

祝 郡上市二十歳を祝う会



令和8年 郡上市二十歳を祝う会

1月11日（日）、「令和8年 郡上市二十歳を祝う会」が郡上市総合文化センターで挙行され、出席された312人のみなさんが、それぞれの決意を新たに大人への一歩を踏み出しました。初めての会場開催となった今年の「二十歳を祝う会」では、高校時代の友人とも話が弾み賑やかな会となりました。



市長式辞（抜粋）

二十歳を迎えたみなさん、おめでとうございます。本日、364名の方が晴れて「二十歳を祝う会」を迎えられました。郡上市民を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、みなさんを今日まで慈しんで育ててこられたご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。学校においてご指導いただきました諸先生方や、温かく見守っていただいた地域の方々にも、改めて深い感謝と敬意を表します。

大人としての一步を踏み出される二十歳という年齢は、権利を得ると同時に、社会を構成する一員として大きな義務と責任を担う覚悟が求められます。現代社会は、AIをはじめとするデジタル技術の急速な進化、人口減少といった大きな変化の渦中にあります。安定だけを求めるのではなく、変化を受け入れ、創造的な発想で今を生き抜く力が将来を切り拓く鍵となります。みなさんには、そんな力強い視点と柔軟な発想力を備えた若者として、社会の新しい風を吹かせてほしいと願います。

「コナ禍を経て、中学時代から高校時代にかけて思いどおりにいかんかった経験をしてきた人も多いでしょう。その分、今、みなさんは様々なことに挑戦することができ、晴れやかな笑顔とともに日々邁進しています。困難を好機と捉えるその姿勢を忘れず、仲間と協力し、学びを深め、挑戦を続けてください。自分自身の人生を築くと同時に、明日の郡上市をより良い方向へ育てていく力を、みなさんが持っていると感じています。

郡上市は、ふるさとを守り、持続可能な地域として未来を創っていくための様々な施策を進めています。特に、若者や子育て世代に焦点を当てた取組みを推進し、みなさん一人ひとりが「自分が育った地域を、これから生活する地域を良くしたい」という思いを実現できる環境を整えています。みなさんが地域社会の中核を担い、地域とともに成長していくことこそ、郡上の未来を輝かせる力になると私たちは信じています。どうか多くの人がこれからの郡上市に関わり、地域の未来づくりに参加していただくさい。

結びに、みなさんへ心からの願いを述べます。どうか自分の可能性を信じ、失敗を恐れず挑戦を続けてください。そして、私たち大人はそんなみなさんの成長を温かく見守り、支援を惜しまないことをここに誓います。共に歩むこの道のりが郡上市をさらに輝かせ、みなさん自身の人生を豊かなものにしていくことを、私は心から願っています。そして、二十歳を祝う会を挙げるにあたり、準備を進めてくださいました実行委員会のメンバーに、深く感謝申し上げます。みなさんの前途が洋々と開けることを祈念して、私の式辞といたします。

二十歳を祝う会を終えた実行委員のみなさんの感想

- ・参加者全員のことを考えた楽しい会にすることができた。
- ・自分たちの力で一から作りあげる貴重な経験ができた。
- ・大変だったけど、みんなで相談しながら企画・運営ができて楽しかった。
- ・会場もきれいで華やかでよかった。
- ・久々に地元の人々と交流ができた。
- ・当日は、終始笑顔で楽しむことができた。

誓いの言葉

※誓いの言葉の内容の一部を要約してご紹介します。



たにぐち なおき
谷口 直輝さん
八幡中学校代表

現在、私は郡上市を離れ、高専で素材にかかわる知識を学び、エンジニアになるという目標に向けて日々努力しています。高専では専門知識だけでなく多様な価値観に触れ、社会を広く見る視点を身につけてつづいています。壁にぶつかり、悩むことも多いですが、自分を成長させ、弱さに向き合う機会になっています。また、これまで支えてくれた方々の言葉や態度を思い返し、再び前を向く力を得ていることに気付くことができました。

今日という日は新しい一歩を踏み出す日であり、大人としての自覚を胸に刻む機会です。今後、ここまで育ててくださった方々や環境への感謝を忘れず、誠実に丁寧に一歩ずつ進んでいきたいと思っています。そして、家族や恩師に胸を張れる人になれるよう、努力を重ねてまいります。



さくらい のぞみ
櫻井 希美さん
八幡西中学校代表

私は、小学4年生から大学生になった今も陸上競技のやり投げを続けています。相生陸上クラブで陸上を始めたときには、まさかここまで続くとは思いませんでしたが、約10年間で多くの素晴らしい経験をさせていただきました。私が何不自由なくやり投げを続けられたのは、支えてくれる家族がいるおかげです。家族の応援がなければ、きつとどこかで辞めていたと思います。競技は一人ではできません。厳しくも温かい両親と優しく見守ってくれる祖父母に感謝し、期待に応え親孝行ができるよう頑張りたいです。

怪我や記録の伸び悩みなど楽しいことよりも辛いことの方が多いですが、応援してくれる方々の期待に応えるためにも、良い結果や記録を出して恩返ししたいと思っています。そして、私の夢の舞台であるオリンピックに出場し、私の原点である郡上市に貢献したいです。郡上市から世界へ羽ばたけるよう、感謝と覚悟を胸に挑戦を続けます。



みつもり たいせい
三森 大誠さん
大和中学校代表

私たちが育ってきた郡上市は四季がはっきりとしていて、美しい自然に囲まれた場所です。当たり前だと思っていた風景や時間が、いま振り返ると、どれほど贅沢だったかに気づかされます。郡上おどりの音が聞こえるなどこか心が落ち着くのは、私たちの原点がここにあるからでしょう。

これからは自分の力で歩いていかなければなりません。もし、つまずいた時には、郡上の自然のように温かく見守ってくれた家族や、ともに笑いあった友達のことを思い出せば、きっと前を向いて進めるはずで。

大人になったからと言って、急にすっかりしなくてもいいと思います。たくさん迷い、失敗していいと思います。一歩ずつ進もうとする姿勢こそが成長であり、これまで支えてくれた方々への感謝を胸に、自分らしく進むことが大切だと感じます。これまでの郡上の先輩方が築いてきてくださったこの素晴らしい最高の故郷を胸に、立派な大人になっていきたいと思っています。



やまもと あり
山本 亜莉さん
白鳥中学校代表

私は高校卒業後、名古屋市内で一人暮らしをしながら飲食業に勤めてきました。自分の力だけで生活するようになって初めて、これまでどれほど親に負担をかけていたのかを深く実感しました。そして、当たり前のように過ごしていた日々の中で、友人たちがどれほど大きな支えになっていたのかも痛感しました。また、郡上市がどれほど綺麗で温かい場所だったのかを改めて思い知り、自分の地元であることを誇りに感じるようになりました。

将来のことも深く考えないまま名古屋へ出ていきましたが、様々な人との出会いを通して、アパレル店員として働きたいという思いが強くなり、来月からはその思いを形にするために、新たな一歩として転職を考えています。私は将来を見据え、名古屋で多くのことを学び経験を積んだあと、郡上に戻り、そこで得た知識や経験を生かして郡上をもっと盛り上げていきたいです。



もり ちこさん
森 ちこさん
高鷲中学校代表

私は、現在郡上を離れ、公務員を目指して専門学校に通いながら一人暮らしをしています。高校を卒業してからの2年間、「誰かの役に立つ仕事がない」という思いで学び、今年4月から岐阜県職員として働くことが決まりました。

今までの歩みを振り返り、私が最も大切にしたいと思ったのは、周りの人々への感謝の気持ちです。20年間、楽しいことが、辛いことを経験したからこそ、自分がどれほど恵まれた環境にいるのかに気づき、当たり前のようにそばにいてくれる人々への感謝を心の底から感じられるようになりました。これまでの20年間で今の私をつくっていると思うと、辛かったことも決して無駄ではなかったと思えます。

これからは、今の自分よりもっと幸せだと胸を張って言える人生にしていきたいです。そして、受け取った優しさを糧に、今度は私が周りの人を幸せにできるような大人になりたいです。



村瀬 玲央さん
郡南中学校代表



佐藤 魁星さん
明宝中学校代表



川尻 菜大さん
郡上東中学校代表

私は高校卒業後、郡上市で働き始めました。この2年間、仕事柄様々な人と出会い、郡上の方々の温かさを改めて実感しました。例えば、老若男女問わず色々な人に話しかけてもらえたり、職場に差し入れをしていただいたりなど、みなさん一人ひとりが感謝の気持ちを持って行動しているまちだという風に思います。

郡上市では世間が狭い分、悲しい別れも多く耳にします。私事にはなりますが、私たち郡南中学校の仲間は高校に進学して間もない頃、一人の仲間を亡くしました。あまりにも突然の事で、最後に何を話したかなどあまり思い出せない自分を悔やみました。その経験から家族や親戚、友人などの集まりには積極的に顔を出すようにしています。

これからの人生でみて、今日のように同級生がこんなに集まる機会はないと思います。今日を振り返った時に後悔がないように楽しみましょう。私はこれからの人生郡上市で培った感謝を大切にして行動していきたいと思っています。

私は小学校から今まで、剣道を続けてきました。正直、何度も「もうやめたい」と思いました。暑い日も、寒い日も、きつい練習に心が折れそうになりました。でも、面をつけて一歩踏み出すたびに「逃げずに立ち向かう強さ」を教えてもらいました。剣道を通して学んだのは、勝つことよりも、自分に負けないことでした。

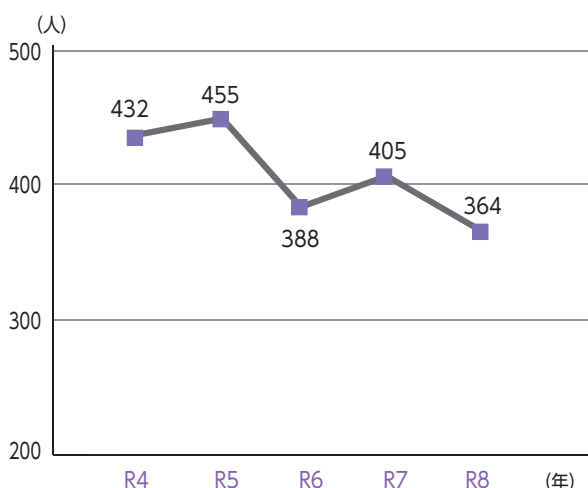
今日から私たちは「守られる側」から「守る側」へと立場が変わります。今まで当たり前のように受け取ってきた優しさや支えを、これからは私たちが誰かに返していく番です。まだ未熟で、不器用で、たくさん失敗もすると思います。それでも、何度転んでも立ち上がり、自分の足で前に進み続ける大人になります。これまで支えてくれたすべての人への感謝を胸に、これからの未来に向かって、恐れず、自分らしく、精一杯生きていきます。

今、社会人として生活している中で、嫌な人だったり合わない人だったりに出会うことがあります。社会に出るとそういう人には必ず出会います。その嫌な人たちのことを考えながら生活を送るのは本当にきついです。本当に辛い時には、いつでも逃げてでもいいと思います。ただ、本当に自分をわかっていてくれる人、大切にしてくれている人のことだけは裏切らないでほしいと思うのです。

楽しいことばかりではなく、思い通りにいかず心が折れそうになることもあると思います。そんな時は無理に一人で抱え込まず、周りを頼ってください。家族や友人、これまで関わってきた大切な人たちは、きっと力になってくれます。そして、自分自身の気持ちにも正直でいてください。周り比べて自分だけが遅れているように感じて焦ることもあるかもしれませんが、人それぞれのペースがあります。自分の歩幅で、一歩ずつ前に進めばいいのです。

◆今年、20歳を迎えた人は 364人 (男 187人、女 177人)

20歳合計人数の推移



◆現在の状況と郡上市で生活することについてのアンケート調査を実施しました ※結果はアンケート回答分のみ

